

令和7年度  
京都大学特色入試  
学生募集要項



令和6年7月

京都大学特色入試は、能力、学ぶ意欲、志を多面的・総合的に評価する本学独自の選抜方式です。本学を志願する皆さんの、これまでの学びの活動等における努力のプロセスや、京都大学で学ぼうとする意欲を積極的に評価します。

#### TOEFL iBT について

令和7年度特色入試から、法学部、経済学部、医学部医学科、薬学部（薬科学科・薬学科）、農学部（資源生物科学科・食品生物科学科）の提出書類のうち、TOEFL iBT スコアレポートについては、「TOEFL iBT Home Edition（TOEFL iBT Special Home Edition 含む）」スコアレポートを用いることができません。

スコアレポートの提出方法につきましては、本学生募集要項に記載されている各学部の指示に従ってください。

令和7年度特色入試の実施に関して、今後追加で変更等がある場合は、本学 Web サイトに掲載します。あなたが志願する学部・学科に関する最新情報について、必ずご確認ください。

京都大学 Web サイト <https://www.kyoto-u.ac.jp/>



# 目 次

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ .....	1
1. 京都大学の基本理念 .....	2
2. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） ..	3
3. 京都大学特色入試の基本方針 .....	4
4. 募集人員・試験実施方式 .....	5
5. 選抜日程 .....	6
6. 令和7年度特色入試における大学入学共通テスト「経過措置科目」の取り扱いについて .....	7
7. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、提出書類、大学入学共通テスト利用教科・科目名、選抜方法及び基準、第2次選考実施期日・場所 .....	12
• 総合人間学部 .....	13
• 文学部 .....	16
• 教育学部 .....	18
• 法学部 .....	21
• 経済学部 .....	24
• 理学部 .....	27
• 医学部医学科 .....	30
• 医学部人間健康科学科 .....	33
• 薬学部薬科学科 .....	36
• 薬学部薬学科 .....	39
• 工学部地球工学科 .....	42
• 工学部建築学科 .....	44
• 工学部物理工学科 .....	46
• 工学部電気電子工学科 .....	48
• 工学部情報学科 .....	50
• 工学部理工化学科 .....	52
• 農学部資源生物科学科 .....	54
• 農学部応用生命科学科 .....	57
• 農学部地域環境工学科 .....	59
• 農学部食料・環境経済学科 .....	61
• 農学部森林科学科 .....	63
• 農学部食品生物科学科 .....	65
8. 出願手続 .....	67
9. 入試情報開示 .....	74
10. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について .....	75
11. 受験に関する注意事項等 .....	76
12. 合格者発表 .....	79
13. 入学手続 .....	81
14. 修学案内 .....	83
15. 個人情報取り扱いについて .....	87
16. 過去3年間の特色入試試験結果の概要 .....	88

問い合わせ先 ..... 91

※一般選抜については、12月に公表予定の一般選抜学生募集要項をご確認ください。

# 「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ



京都大学は、令和4年に創立125周年を迎えた長い歴史と伝統を誇る総合大学です。京都大学の基本理念は自由の学風と創造の精神であり、自然科学分野ではアジア最多のノーベル賞やフィールズ賞受賞者を輩出し、人文社会科学分野では京都学派といわれる独自の思想・文化の潮流を作り出すなど、広い学術研究領域で輝かしい成果をあげてきました。私たちが尊重するのは独創性と多様性であり、若い皆さんの持つ大きな潜在的可能性を引き出し育てていくことが責務であると考えています。

大きな可能性を秘めた受験生が少しでも多く京都大学に集まっていたらよいように、京都大学では一般選抜に加え特色入試制度を開始し、全ての学部・学科で実施しています。これは、京都大学の基本精神を体現し、将来様々な分野でリーダーシップをとって社会に貢献できる優れた人材を発掘し育成することを目的として、高校での学修における特徴的な活動や成果を重視し、各学部・学科が独自に定める資質や意欲・志などを総合的に評価する本学独自の選抜方式です。

京都大学は、特色入試と一般選抜で入学された多様な可能性を秘めた学生達と同じキャンパスで学業や課外活動に励み、対話と切磋琢磨のなかで成長していただくことを強く期待しています。様々なタイプの学生達が、お互いに親しく交流し友情を育てていくことによって、きっと新しい考えの芽生えや自己発見があることでしょう。

受験生の皆さんには、この特色入試という本学への新しい扉の趣旨を理解し利用してこの伝統ある京都大学に集い、新しい自分の可能性を発見していく旅にチャレンジしていただくことを期待しています。

京都大学総長 湊 長 博

## 1. 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

### ■研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

### ■教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

### ■社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

### ■運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に答える。

## 2. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う多様な人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる多様な人々を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者を選抜します。一般選抜では、教科・科目等を定めて、大学入学共通テストと個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

### 3. 京都大学特色入試の基本方針

本特色入試では、高大接続と個々の学部教育を受ける基礎学力を重視し、

①高等学校での学修における行動と成果の判定

②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学力及び個々の学部教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書」や「推薦書」を提出していただきます。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴（例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、各種大会における入賞、教育委員会賞、国際バカロレアディプロマコース・SAT・TOEFL・TOEIC・英検の成績など）を記していただき、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを見ます。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から本学において何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学ぶ意欲や志について書類審査を通じて評価します。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、大学入学共通テストの成績、学部ごとの能力測定考査、論文試験、面接試験、口頭試問等を組み合わせて実施します。

#### 4. 募集人員・試験実施方式

学 部・学 科・コース名			募集人員	試験実施方式
総合人間学部			5人	総合型選抜
文学部			10人	総合型選抜
教育学部			6人	総合型選抜
法学部			20人	学校推薦型選抜
経済学部			文系型入試 15人	学校推薦型選抜
			理系型入試 10人	
理学部			数理科学入試 5人	総合型選抜
			生物科学入試 5人	
医学部	医学科		5人	学校推薦型選抜
	人間健康 科学科	先端看護科学コース	20人	総合型選抜
		先端リハビリテーション科学 コース（先端理学療法学講座）	5人	
		先端リハビリテーション科学 コース（先端作業療法学講座）	5人	
薬学部	薬科学科		3人	総合型選抜
	薬学科		3人	
工学部	地球工学科		4人	学校推薦型選抜
	建築学科		3人	
	物理工学科		5人	
	電気電子工学科		7人	
	情報学科		3人	
	理工化学科		15人	
農学部	資源生物科学科		3人	総合型選抜
	応用生命科学科		4人	
	地域環境工学科		3人	
	食料・環境経済学科		3人	
	森林科学科		7人	
	食品生物科学科		3人	
合計			177人	

- 注: 1. 選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
2. 経済学部の「文系型入試」「理系型入試」、及び理学部の「数理科学入試」「生物科学入試」は、両方に出願することはできません。また、学部・学科・コース間の併願はできません。
3. 国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、1つの大学・学部に限ります。
4. 本特色入試に出願できるのは、合格した場合に入学することが確約できる人に限ります。
5. 本特色入試に出願した場合でも、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。ただし、本特色入試の合格者は、本学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者となりません。なお、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会ホームページを参照のこと。（<https://www.kodaikyo.org/>）
6. 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。

## 5. 選抜日程

学部・学科名等	出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	第2次選考 結果発表	最終 合格発表				
総合人間学部	11/1~8	11/28	12/14	※	2/12				
文学部	11/1~8	11/28	12/14	※	2/12				
教育学部	10/1~7	11/6	11/16,17	12/4	2/12				
法学部	11/1~8	11/28	12/14	1/10	2/12				
経済学部	11/1~8	—	—	—	2/12				
理学部	(数理科学入試)	10/1~7	11/6	11/16,17	12/4	2/12			
	(生物科学入試)			11/16			※		
医学部	医学科	11/1~8	11/28	12/14,15	※	1/24			
	人間健康科学科	10/1~7	11/6	11/16,17	1/24	2/12			
薬学部	薬科学科	11/1~8	11/28	12/14	※	2/12			
	薬学科								
工学部	地球工学科	11/1~8	—	—	—	2/12			
	建築学科								
	物理工学科								
	電気電子工学科								
	情報学科						11/28	12/14	1/10
	理工化学科						—	—	—
農学部	資源生物科学科	11/1~8	11/28	12/14	1/10	2/12			
	応用生命科学科								
	地域環境工学科								
	食料・環境経済学科								
	森林科学科								
	食品生物科学科								

注：※については、第2次選考合格発表と最終合格発表が同じであることを示しています。

入学手続締切日は、2月19日とします。

○出願期間 △第1次選考結果発表 □第2次選考 ◇第2次選考結果発表 ☆最終合格発表 ●入学手続

下欄の数字は日付を表す。

	10月	11月	12月	1月	2月
総合人間学部		○ 1~8 △ 28	□ 14		☆ 12 ● 19
文学部		○ 1~8 △ 28	□ 14		☆ 12 ● 19
教育学部	○ 1~7	△ 6 □ 16,17	◇ 4		☆ 12 ● 19
法学部		○ 1~8 △ 28	□ 14	◇ 10	☆ 12 ● 19
経済学部		○ 1~8			☆ 12 ● 19
理学部	(数理科学入試)	○ 1~7 △ 6 □ 16,17	◇ 4		☆ 12 ● 19
	(生物科学入試)	○ 1~7 △ 6 □ 16			☆ 12 ● 19
医学部	医学科	○ 1~8 △ 28	□ 14,15	☆ 24	● 19
	人間健康科学科	○ 1~7 △ 6 □ 16,17		◇ 24	☆ 12 ● 19
薬学部	薬科学科	○ 1~8 △ 28	□ 14		☆ 12 ● 19
	薬学科				
工学部	地球工学科				☆ 12 ● 19
	建築学科	○ 1~8			
	物理工学科				
	電気電子工学科				
	情報学科	○ 1~8 △ 28	□ 14	◇ 10	☆ 12 ● 19
	理工化学科	○ 1~8			☆ 12 ● 19
農学部	資源生物科学科				☆ 12 ● 19
	応用生命科学科				
	地域環境工学科				
	食料・環境経済学科	○ 1~8 △ 28	□ 14	◇ 10	☆ 12 ● 19
	森林科学科				
	食品生物科学科				

## 6. 令和7年度特色入試における大学入学共通テスト「経過措置科目」の取り扱いについて

令和5年6月2日付け文部科学省高等教育局長通知「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」により、新教育課程（平成30年文部科学省告示第68号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修していない入学志願者に対しては、旧教育課程（平成21年文部科学省告示第34号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）による出題教科・科目として、経過措置を講ずる。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修者	<p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者</p> <p>② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者</p>
旧教育課程履修者等	<p>上記以外の者</p> <p>* 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者</p>

（出典：大学入試センター「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」の訂正について 別表3（令和5年7月21日））

令和7年度特色入試各学部・学科等における旧教育課程履修者等の「経過措置科目」の取り扱いは、以下の通りとする。

### 【総合人間学部】

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

### 【文学部】

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史

探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から2科目を解答することができる。

※新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### 【教育学部】

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目又は1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から2科目又は1科目を解答することができる。

※2科目を解答する場合、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### 【法学部】

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目（『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』のうち少なくとも1科目を選択すること）を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から2科目（『旧世界史B』、『旧日本史B』のうち少なくとも1科目を選択すること）を解答することができる。

※新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### 【経済学部】

（文系型入試）

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目を解答する代わりに、

『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から2科目を解答することができる。

※新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### (理系型入試)

- ・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### 【理学部】

##### (数理学部入試・生物科学入試)

- ・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

#### 【医学部】

##### (医学科)

- ・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学 B』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

(人間健康科学科先端看護科学コース・先端リハビリテーション科学コース(先端作業療法学講座))

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目又は1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から2科目又は1科目を解答することができる。

※2科目を解答する場合、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできない。

・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学 B』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

(先端リハビリテーション科学コース(先端理学療法学講座))

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学 B』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

## 【工学部】

(全学科共通)

・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学 B』を解答することができる。

・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

## 【農学部】

### （応用生命科学科）

- ・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』から1科目を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

### （応用生命科学科以外）

- ・旧教育課程履修者等は、「地理歴史及び公民」において、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目を解答する代わりに、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学①」において、『数学Ⅰ、数学A』を解答する代わりに、『旧数学Ⅰ・旧数学A』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「数学②」において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』を解答する代わりに、『旧数学Ⅱ・旧数学B』を解答することができる。
- ・旧教育課程履修者等は、「情報」において、『情報Ⅰ』を解答する代わりに、『旧情報』を解答することができる。

7. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、提出書類、  
大学入学共通テスト利用教科・科目名、選抜方法及び基準、第2次選考  
実施期日・場所

13～66ページのとおりです。学部・学科により異なりますので、注意してください。

# 【総合人間学部】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたくことを望んでいます。

## ◆募集人員

5人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学総合人間学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(総合人間学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試Webサイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。又は『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※2
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3
【情報】『情報Ⅰ』 ※4

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

※4 100点満点を50点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、能力測定考査、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行い、上位50人程度を上限として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、能力測定考査（文系総合問題、理系総合問題）を行い、その成績、及び大学入学共通テストの成績により最終選考を行います。

能力測定考査においては、文系総合問題では広く文化・科学・思想・社会などから出題し、長文の読解力や文章力を検査します。理系総合問題では、数理的思考力や論理的思考力を検査します。

能力測定考査の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合計
配点	100	100	200

大学入学共通テストにおいては基礎学力を問い、その得点の合計が850点満点中概ね85%以上であることを求めます。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	100	200	100	200	50	850

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	文系総合問題	10時00分～12時00分	京都大学 総合人間学部
	理系総合問題	14時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに総合人間学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

## 【文学部】

試験実施方式：総合型選抜

### ◆求める人物像

文学部は、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。特色入試では、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

### ◆募集人員

10人

### ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

### ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学文学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(文学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2 ※1

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。 ※2

【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3

【情報】『情報Ⅰ』

※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

※2 大学入学共通テストの理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。

※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テストの成績、「学びの設計書」に関連する論述試験、及び論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、「学びの設計書」に関連する論述試験及び論文試験を行います。

①「学びの設計書」に関連する論述試験及び提出書類、②論文試験についてA～Cの3段階評価を行い、①及び②の両方がAの者で、かつ大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね840点以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	200	200	100	200	100	1000

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	論述試験	10時00分～11時30分	京都大学文学部
	論文試験	13時00分～15時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに文学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【教育学部】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- 教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- 人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- 将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

## ◆募集人員

6人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年10月1日(火)午前10時～10月7日(月)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月6日(水)発送
第2次選考実施日	令和6年11月16日(土)、17日(日)
第2次選考結果発表日	令和6年12月4日(水)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の学習成績の状況が概ね4.3以上の者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校の場合は出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出し、期末試験まで含めた高校3年生前期の成績を10月31日(木)【午後3時必着】までに教育学部教務掛へ「簡易書留速達」で郵送してください。
2. 学びの報告書	所定様式(教育学部用)により志願者本人が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(教育学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式は、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

※「学びの報告書」作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。

#### ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』

【地歴・公民】、【理科】については、次のどちらかを選択する。

・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2 ※1、及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること ※2

・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1、及び『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3

【情報】『情報Ⅰ』 ※4

※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

※2 大学入学共通テストの理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。

※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

※4 100点満点を30点満点に換算して利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、課題、及び口頭試問によるパフォーマンス評価の成績、並びに大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。なお、パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物やそれに関わる活動を評価する方法です。

第1次選考は、調査書、学びの報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、課題と口頭試問により選考を行います。

- ・課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。
- ・口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

第2次選考における配点は、次のとおりとします。

試験の区分	課題	口頭試問	合計
配点	100	100	200

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が930点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	数学	地歴・公民	理科	外国語	情報	
配点	200	200	300		200	30	930

◆第2次選考実施期日・場所

日 程	内 容	時 間	場 所
令和6年11月16日(土)	課題	13時30分～16時30分	京都大学教育学部
令和6年11月17日(日)	口頭試問	9時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに教育学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【法学部】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

現在の社会では、従来の認識枠組みでは十分に検討できない多様な課題が発生し、一国家だけでは対応できない課題が進行しています。こうした課題に対応するには、社会の多様性を反映した様々なバックグラウンドを持つ学生が必要だと考えています。解決すべき課題を様々な事象から言語化する能力を持ち、国境の壁、言語の壁、ジェンダーの壁にとらわれることなく、様々な見解・価値観を持つ他者との対話・協働を通じて、広い視野から国家や社会のあり方を深く考え、法政策の提言や実践によって課題解決に取り組もうとする生徒の受験を望んでいます。

そこで、次のような資質のある人材を広く全国から求めています。

- ・グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有し、かつ、グローバルに活躍するにあたって必須となる英語の基本的な四技能をバランスよく身につけていること
- ・人々が協働し、共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること

## ◆募集人員

20人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・見識ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者
2. 学業成績に秀でており、国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること。自らの考えを言語化し、異なる文化的・社会的背景や価値観を有する他者との対話・コミュニケーションを遂行するために必要な基礎的かつ十分な日本語・外国語における言語遂行能力を修得していること
3. TOEFL iBTのOfficial Score Reports又はTest Taker Score Report、IELTS(アカデミック・モジュール)、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本、または実用英語

- 検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つを提出できる者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学法学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

#### ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、2人まで（ただし、男性は1人まで）とします。

#### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。 （「学業成績に秀でていること」に該当する理由を記載してください。志願者が在学中に行った活動・研究のうち、推薦要件2. に照らして、特筆すべきものの内容について、その理由とともに説明してください。）
3. 学びの設計書	所定様式（法学部用）により志願者本人が作成したもの（法学部のアドミッション・ポリシーならびに、法学部が特色入試で求める人物像を読み、あなたが法学部で学びたいことや、卒業後の進路などについて、自由に述べてください。）
4. 推薦要件2. を満たすことを具体的に証明する資料	例えば、下記のもの。ただし、これに限定されない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校等での課題研究の実績や執筆した論文</li> <li>・留学経験を証明する書類、外国人との交流や支援活動を行ったことを示す第三者の推薦状</li> <li>・特記すべき社会貢献活動や課外活動の内容を証明する書類</li> </ul>
5. TOEFL iBT の Official Score Reports または Test Taker Score Report、IELTS（アカデミック・モジュール）、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

#### ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2 ※1 （『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』のうち少なくとも1科目を選択すること。）
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。 ※2
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3
【情報】『情報Ⅰ』 ※4

- ※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- ※2 大学入学共通テストの理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
- ※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。
- ※4 100点満点を50点満点に換算して利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、及び小論文の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験では、英語の文章を題材に、日本語で解答する小論文を課し、読解力、論理的思考力、日本語による表現力などについて評価します。

小論文試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	合計
配点	100	100

最終合格者は、第2次選考に合格した者で、大学入学共通テストの合計得点が950点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。

大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。数字は満点を表します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	200	200	100	200	50	950

#### ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	小論文	14時00分～16時00分	京都大学法学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

#### ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験票の送付について」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに法学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【経済学部】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

特色入試では、大学院への進学を希望し、下記の進路を目指す学生を求めています。

1. 文系型入試：国内外の幅広い経済問題に興味をもち、社会科学の総合的知見を重視した包括的なアプローチにもとづいて課題解決を志向する学生。特に、国際連携を重視した修士課程へ進学し、広い視野と高度な英語力を習得するとともに、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを発揮して産業界・官庁(国際機関を含む)にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成のための修士課程・博士後期課程に進学し、持続性を重視した経済政策論・経済発展論などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。
2. 理系型入試：数学・統計モデルを用いた理論・計量分析に興味を持つ学生。特に、高度専門人材養成を目指す修士課程へ進学し、データサイエンス・計量経済学に関する高度な専門知識を修得して産業界・官庁にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成を目指す修士課程・博士後期課程に進学し、経済理論・応用経済学などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。

## ◆募集人員

文系型入試 15 人、理系型入試 10 人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年 2月12日(水)正午
入学手続	令和7年 2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・見識ともに特段に優れており、文系型入試もしくは理系型入試の求める人物像に合致した人材として、学校長が責任をもって推薦する者
2. 大学院への進学や経済学の研究に興味がある者
3. 調査書の全体の学習成績の状況が概ね4. 3以上の者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

### 文系型入試

6. TOEFL iBT、IELTS(アカデミック・モジュール)、TOEIC Listening & Reading Test、GTEC(CBTに限る)、実用英語検定(英検)(英検 CBT・英検 S-CBT・英検 S-Interview も認める)のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBT、IELTS(アカデミック・モジュール)、TOEIC Listening & Reading Test、GTECにあっては受験者成績書の原本を提出できる者、または実用英語検定(英検)にあっては合格証明書の原本を提出できる者

7. 課外活動（日本語または英語による論文・ディベートコンテストなどを含む）や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著なリーダーシップや課題発見・解決力を示した者

**理系型入試**

6. 科学に関する課外活動（国際的な科学競技会を含む）や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者、又は高校課程の数学、物理、化学、生物のうち少なくとも1科目においてきわめて優れた学業成績を修めた者

7. 数学Ⅲを履修した者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、文系型、理系型それぞれ2人（男女ともに在学する学校における男子の上限はそれぞれ1人）までとします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。 （大学院進学への興味についても言及すること。）
3. 学びの設計書	所定様式（経済学部「文系型入試用」もしくは「理系型入試用」）により志願者本人が作成したもの。（大学院に進学した場合どのような研究をしたいかという抱負を含む。文系型入試では経済問題に対する関心についても記載すること。）
4. 顕著な活動・学習実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。
<b>文系型入試</b>	
5. TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Test、GTEC（CBTに限る）の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

**文系型入試**

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2 ※1

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。又は『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※2

【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3

【情報】『情報Ⅰ』

**理系型入試**

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2（『物理』、『化学』のうち少なくとも1科目を選択すること。）

【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3

【情報】『情報Ⅰ』

※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

※2 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

### ◆選抜方法及び基準

#### 文系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上であり、「地歴・公民」のうち得点がより高い科目、及び「外国語」の2科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

#### 理系型入試

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上であり、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の2科目、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうち得点がより高い1科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

#### 文系型入試

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	200	200	100	200	100	1000

#### 理系型入試

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

### ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験票の送付について」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに経済学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

## 【理学部】

試験実施方式：総合型選抜

### ◆求める人物像

理学部は、自由な雰囲気の下での学問的創造および自律的学修を大切にしており、1学科制の下、緩やかな専門化を経て各学生の興味や適性に合致した専門分野に向う教育を行っています。

理学部では、望む学生像として次の2項目を掲げています。(1)自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人。(2)高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。そのような人の中で、数理科学入試では特に数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人、また生物科学入試では生物科学の分野に志向性を持ち科目に偏らない幅広い学力を持つ人の受験を望んでいます。

### ◆募集人員

数理科学入試 5 人、生物科学入試 5 人

### ◆選抜日程

出願期間	令和6年10月1日(火)午前10時～10月7日(月)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月6日(水) 発送
第2次選考実施日	(数理科学入試) 令和6年11月16日(土)、17日(日) (生物科学入試) 令和6年11月16日(土)
第2次選考結果発表日	(数理科学入試のみ) 令和6年12月4日(水) 正午
最終合格発表	令和7年 2月12日(水) 正午
入学手続	令和7年 2月19日(水) 午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者
3. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日の時点において20歳未満で18歳に達したもので、  
(この資格で出願を希望する者は、個別の入学資格審査の申請をする必要がありますので、91ページに記載の理学部教務掛にお問い合わせください。申請期限は令和6年8月30日(金)必着です)

### ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学理学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校の場合は出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出し、期末試験まで含めた高校3年生前期の成績を10月31日（木）【午後3時必着】までに理学部教務掛へ「簡易書留速達」で郵送してください。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの報告書	所定様式（理学部「数理科学入試用」もしくは「生物科学入試用」）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。  
※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

### 数理科学入試

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2

【外国語】『英語』 ※2

【情報】『情報Ⅰ』

### 生物科学入試

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『生物』（必ず選択）、及び『物理』、『化学』、『地学』から1

【外国語】『英語』 ※2

【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

### 数理科学入試

提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、数学に関する能力測定考査、口頭試問の成績により選考を行います。

数学に関する能力測定考査では、数理解力、問題解決力、論理的思考力、明解な説明能力などについて評価します。

口頭試問では、上記の能力に加えて、意欲、適性などについて評価します。

数学に関する能力測定考査、及び口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	能力測定考査	口頭試問	合計
配点	80	20	100

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね70%以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

**生物科学入試**

提出書類、口頭試問、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。

第2次選考は第1次選考に合格した者に対して、口頭試問により選考を行います。

口頭試問では、生物科学に対する意欲、知識、適性及び意見を論理的に述べる能力などについて評価します。

最終選考は、口頭試問の成績、及び大学入学共通テストの成績で決定します。配点は次の通りとします。ただし、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね70%以上であることを求めます。

試験の区分	口頭試問	大学入学共通テスト	合計
配点	300	1000	1300

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

**◆第2次選考実施期日・場所**

**数理学入試**

日程	内容	時間	場所
令和6年11月16日(土)	能力測定考査	9時00分~13時00分	京都大学理学部
令和6年11月17日(日)	口頭試問	9時30分~17時30分	

※数学に関する能力測定考査の結果は、11月16日(土)午後10時(予定)に合否照会システムにて発表します。数学に関する能力測定考査の合格者に対して、11月17日(日)の口頭試問を実施します。

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

**生物科学入試**

日程	内容	時間	場所
令和6年11月16日(土)	口頭試問	13時00分~17時30分	京都大学理学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

**◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出**

数理学入試の第2次選考合格者及び生物科学入試の第1次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに理学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【医学部医学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供するMD-PhDコースへの進学を希望する人材。

## ◆募集人員

5人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)、15日(日)
最終合格発表	令和7年1月24日(金)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。※注1

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 国内の国際バカロレア認定校(DP)を令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
3. 国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表として世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者
4. 国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表として世界大会に出場した者で、国内の国際バカロレア認定校(DP)を令和7年4月から令和8年3月までに卒業見込みの者
5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

※注1 学校教育法第1条に規定されている学校(一条校)かつ国際バカロレア認定校(DP)を卒業見込みの者は、「出願資格1」として出願してください。また、調査書に加えて、国際バカロレア資格の成績証明書の写し(取得見込みの者は、学校長が発行する Predicted Grades の写し)を、参考資料として提出してください。

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者
2. TOEFL iBT を受験し、Official Score Reports または Test Taker Score Report（原本）を提出できる者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験しその結果を提出する者  
※ただし、入学資格（出願資格）の2、3、4に該当する者は除く。
4. 本学医学部医学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、1人とします。

ただし、国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表で世界大会に出場した令和8年3月卒業見込みの者は別枠で1人推薦可能とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。出願資格の2、4に該当する者で、調査書の提出ができない場合は、国際バカロレア資格の成績証明書の原本（取得見込みの者は、学校長が発行する Predicted Grades）を提出すること。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（医学部医学科用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT のスコア（以下の（1）または（2）を提出すること）	<p>（1）Official Score Reports（公式スコアレポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ETS から京都大学に直接送付する手続きを行うこと。</li> <li>・登録コードは「9501」を選択すること。</li> <li>・なお、出願の際には受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report）のコピーも提出すること（オンラインで出力したもので可）。ETS に直接送付手続きをしている旨を付記しておくこと。</li> </ul> <p>（2）Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート）の原本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインで出力したものではなく、ETS から郵送されたスコアレポートの原本を提出すること。</li> </ul>
5. 特色事項（各種コンクール、国際科学オリンピック等）に関する資料	<p>*高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者及び国内の国際バカロレア認定校（DP）を令和7年4月から令和8年3月までに卒業見込みの者は提出必須</p>

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1
【情報】『情報Ⅰ』

※大学入学共通テストの成績は、判定には利用しませんが、上記において指定した教科・科目を受験し、その結果を提出してください。

### ◆選抜方法及び基準

提出書類、口頭試問、及び面接試験の成績を総合して判定します。

(大学入学共通テストの成績は判定には利用しません。)

第1次選考は、提出書類の内容により選考します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問、及び面接試験を行い、その成績により選考します。

口頭試問では、物理・化学・生物に関する資料を読んでレポートを作成し、それに基づく口頭試問を行い、論理的思考力、文章構成力などについて評価します。

面接試験では、京都大学が望む医学研究者、医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価します。

なお、口頭試問、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	面接	合計
配点	160	240	400

### ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	口頭試問	8時50分~17時00分	京都大学医学部医学科
令和6年12月15日(日)	面接	9時00分~13時30分	

※第2次選考の1日目に口頭試問の選考を行い、2日目に面接を実施して、総合的に評価します。

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

### ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに医学部医学科教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

### ◆備考

特色入試に合格し、入学した者で本学が提供するMD-PhDコースへ進学する者には奨学金制度を設けております。

# 【医学部人間健康科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

医学部人間健康科学科は、国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや研究者の養成を推進します。特色入試ではこのうち看護師、保健師、理学療法士、作業療法士へのモチベーションを持った学生を募集します。多面的かつバランスの良い思考力で課題や問題を抽出し解決していく医療のエキスパートとなり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

先端看護科学コース 20人

先端リハビリテーション科学コース（先端理学療法学講座） 5人

先端リハビリテーション科学コース（先端作業療法学講座） 5人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年10月1日（火）午前10時～10月7日（月）午後5時（必着）
第1次選考結果発表日	令和6年11月6日（水）発送
第2次選考実施日	令和6年11月16日（土）、17日（日）
第2次選考結果発表日	令和7年 1月24日（金）正午
最終合格発表	令和7年 2月12日（水）正午
入学手続	令和7年 2月19日（水）午後5時（必着）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学医学部人間健康科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校の場合は、出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出し、期末試験まで含めた高校3年前期の成績を10月31日（木）【午後3時必着】までに医学部人間健康科学科教務掛へ「簡易書留速達」で郵送してください。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（医学部人間健康科学科用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

### 先端看護科学コース及び先端リハビリテーション科学コース（先端作業療法学講座）

【国語】『国語』

【地歴・公民】及び【理科】については、次のいずれかを選択する。

- ・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2（※1）、及び『物理』、『化学』、『生物』から1（※2）
- ・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2（※1）、及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。（※2）
- ・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1（※2）、及び『物理』、『化学』、『生物』から2
- ・『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1（※2）、及び『物理』、『化学』、『生物』から1、及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること（※3）

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【外国語】『英語』（※4）

【情報】『情報Ⅰ』

### 先端リハビリテーション科学コース（先端理学療法学講座）

【国語】『国語』

【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1（※2）

【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』

【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2

【外国語】『英語』（※4）

【情報】『情報Ⅰ』

※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

※2 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※3 理科において同一名称を含む科目の組合せ（例えば「物理」と「物理基礎」のような組合せ）は選択できません。

※4 リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入学共通テストの成績を総合して判定します。

第1次選考は、事前提出書類（調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書）により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、面接試験、及び事前提出書類（調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書）により選考を行います。

論文試験では、医療専門職としての問題発見・解決能力などについて評価します。

面接試験では、医療専門職のリーダーとしての適性・コミュニケーション能力などについて評価します。

なお、第2次選考において、論文試験及び面接試験のいずれか一つ以上の得点が一定得点に達しなかった場合、不合格となることがあります。

最終選考は、第2次選考の成績上位者から順に、大学入学共通テストの指定した教科・科目の合計得点が1000点満点中概ね75%以上の者の中から合格者を決定します。

大学入学共通テスト、論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

**先端看護科学コース及び先端リハビリテーション科学コース（先端作業療法学講座）**

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	数学	地歴・公民	理科	外国語（英語）	情報	合計
配点	200	200	300		200	100	1000

  

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

**先端リハビリテーション科学コース（先端理学療法学講座）**

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	数学	地歴・公民	理科	外国語（英語）	情報	合計
配点	200	200	100	200	200	100	1000

  

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

**◆第2次選考実施期日・場所**

日程	内容	時間	場所
令和6年11月16日（土）	論文	9時30分～12時30分	京都大学医学部 人間健康科学科
令和6年11月17日（日）	面接	9時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

※面接の時間については、午前の部9：00～12：00又は午後の部13：00～16：30のいずれかを本学が指定し、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

**◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出**

第1次選考合格者は、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに医学部人間健康科学科教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

**◆備考**

特色入試で入学した者については、入学後の所属コース（講座）変更は認めません。

# 【薬学部薬科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

京都大学薬学部薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのため、特色入試では、特に次のような要件を満たす人材を全国から求めます。

1. 創薬科学研究に関心と興味を持ち、大学院薬学研究科で博士の学位を取得した後に、世界の創薬科学の革新と発展をリードする研究者となる志と資質を有する人
2. 知的好奇心に基づいた科学的探求力と英語力に優れ、自発的な自然科学の学習や探求活動を実施してきた人
3. 十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目標を設定して挑戦できる行動力と最後までやり遂げる力がある人

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学薬学部薬科学科の求める人物像を理解した上で学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. TOEFL iBT、IELTS (アカデミック・モジュール)、実用英語検定(英検)(英検 CBT・英検 S-CBT・英検 S-Interview も認める)のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBT、IELTS (アカデミック・モジュール)にあっては受験者成績書の原本を提出できる者、または実用英語検定(英検)にあっては合格証明書の原本を提出できる者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(薬学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS の受験者成績書の原本(コピー不可)、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本(コピー不可)のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2
【外国語】『英語』 ※2
【情報】『情報Ⅰ』 ※3

- ※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。
- ※2 リスニングテストを含みます。リーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。
- ※3 100点満点を50点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験は、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。

面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	論文	面接	合計
配点	200	200	400

最終合格者は、大学入学共通テストの得点の合計が950点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	情報	
配点	200	100	200	200	200	50	950

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	論文	9時30分~12時30分	京都大学薬学部
	面接	14時00分~17時00分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに薬学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【薬学部薬学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

京都大学薬学部薬学科では、医療薬学や先端医療に関係する幅広い分野において、国際的なリーダーとして薬学研究を牽引できる人材を育成しています。そのため、特色入試では、特に次のような要件を満たす人材を全国から求めます。

1. 医療薬学研究に関心と興味を持ち、大学院薬学研究科で博士の学位を取得した後に、薬剤師資格を背景にして世界の薬学の発展をリードする研究者となる志と資質を有する人
2. 知的好奇心に基づいた科学的探求力に優れ、医療人であるとともに教育者・研究者となるにふさわしい人間性を備えており、倫理観を持って自発的な科学の学習や探求活動を実施してきた人
3. 十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目標を設定して挑戦できる行動力と最後までやり遂げる力がある人

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学薬学部薬学科の求める人物像を理解した上で学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. TOEFL iBT、IELTS (アカデミック・モジュール)、実用英語検定(英検)(英検 CBT・英検 S-CBT・英検 S-Interview も認める)のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBT、IELTS (アカデミック・モジュール)にあつては受験者成績書の原本を提出できる者、または実用英語検定(英検)にあつては合格証明書の原本を提出できる者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(薬学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS の受験者成績書の原本(コピー不可)、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本(コピー不可)のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

#### ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2
【外国語】『英語』 ※2
【情報】『情報Ⅰ』 ※3

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。リーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

※3 100点満点を50点満点に換算して利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験は、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。

面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	論文	面接	合計
配点	200	200	400

最終合格者は、大学入学共通テストの得点の合計が950点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	50	950

#### ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	論文	9時30分~12時30分	京都大学薬学部
	面接	14時00分~17時00分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

#### ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を

受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに薬学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【工学部地球工学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

持続的な発展をめざす人類社会のより良い未来に向けて、社会インフラの構築や都市・地域の開発と防災、資源・エネルギーの高度利用と新規開発、地球・地域環境の保全と改善に関する革新的技術を自ら創り出すことに強い意欲をもち、それに必要な高い基礎学力を有し、将来、国際的視野をもったリーダーとなり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

4人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者、又は高校課程の数学、物理、化学の内少なくとも1科目においてきわめて優れた学業成績を修めた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部地球工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して1人とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2  
 【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上であり、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、また、選択した理科2科目の合計4科目の内、少なくとも2科目の得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

## ◆備考

特色入試で工学部地球工学科に合格した者も、英語のみで授業を行う地球工学科国際コースを選択することが可能です。令和7年3月中旬に開催する説明会后、面接を受けた者の中から決定します。

# 【工学部建築学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

建築学科は、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心を持ち、それらの特筆すべき能力、高い基礎学力とリーダーシップを持つ人材を求めています。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学または芸術に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において顕著な実績をあげた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部建築学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して1人とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理』（必ず選択）、及び『化学』、『生物』から1  
 【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上であり、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の2科目についてはいずれも得点率が概ね90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【工学部物理工学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拓げていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、古典物理学から近代物理学に到る幅広い物理学を基礎とした工学を学ぶ強い意欲、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人を求めます。

## ◆募集人員

5人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部物理工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して男女各1人計2人(男女いずれかのみが在学する学校においては、1人)までとします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』（必ず選択）、及び『化学』、『生物』から1
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2
【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね85%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【工学部電気電子工学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

自然現象や科学技術、特に電気電子工学関連の学術分野に対する強い興味と旺盛な探究心をもつとともに、専門教育を受けるのに十分な高い基礎学力と論理的思考力を有しており、かつ科学技術に関する特筆すべき能力やリーダーシップを備えた創造性豊かな人材を求めます。

## ◆募集人員

7人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部電気電子工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して男女各1人計2人（男女いずれかのみが在学する学校においては、1人）までとします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』（必ず選択）、及び『化学』、『生物』から1
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2
【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【工学部情報学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

情報学科では、高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めています。特色入試ではさらに、授業科目の一環として実施した課題研究や、科学に関する課外活動で顕著な実績を上げた経験を有する人を求めます。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して男女各1人計2人（男女いずれかのみが在学する学校においては、1人）までとします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』(必ず選択)、及び『化学』、『生物』から1
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2
【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。  
 ※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算したうえで、下表のとおり利用します。『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は筆記200点満点を下表のとおり利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、口頭試問、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して口頭試問により選考を行います。

口頭試問では、提出書類の記載事項の確認、高等学校での学修の確認、顕著な活動実績に係る科目についての高等学校の発展的内容に基づいた試問、英語による自己紹介などにより評価します。

口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	合計
配点	200	200

大学入学共通テストの成績は下表の点数に換算し、第2次選考に合格した者のうち得点の合計が1000点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	150	100	250	200	200	100	1000

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	口頭試問	9時00分~17時30分	京都大学工学部 情報学科

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

※遠方からの受験者については、開始時間を配慮します。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【工学部理工化学科】

試験実施方式：学校推薦型選抜

## ◆求める人物像

理工化学科では、持続可能な社会をつくりだすために、地球規模課題に対して化学が求められているミッションを念頭に、創造的な基礎技術・先端技術の開発や学際領域の研究を推進しています。そのため、化学および化学に関連する工学の基礎学理を理解し、広い視野から物事を論理的に解決する能力、未知なる課題に取り組む意欲と創造性、高い倫理観、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを有し、将来、国際的に活躍する研究者、技術者になり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

15人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和7年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 科学に関する課外活動や授業科目の一環として実施した課題研究において、顕著な実績をあげた者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部理工化学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学科に対して2人までとします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。ただし、共同での活動実績については、志願者個人の貢献がわかる様に作成すること。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『化学』(必ず選択)、及び『物理』、『生物』から1
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2
【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点で利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。

提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入学共通テストの合計得点が1000点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。ただし、概ね80%に達しない科目がある場合は、不合格にすることがあります。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和7共通テスト成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【農学部資源生物科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

資源生物科学科では、知的好奇心を出発点として最先端の基礎生物学に取り組み、幅広い応用分野に展開をしていく研究と、現在の農水畜産業などが抱える諸問題の解決を目指して資源生物と関連分野に関する知を究めていく研究を推進しています。これら二種類の出発点の異なる研究から得られる基礎と応用の知を統合することで、当学科の究極目標であるより豊かで持続的な社会の実現を目指した教育と研究を行っています。

そこで、特色入試では、対象とする様々な生物と自ら向き合い、自ら問い、自ら考えて解決の道を切り拓く強い意欲を持ち、学問の基礎を大切にす人材を求めます。また、農水畜産業などの応用的課題について取り組む視野の広い人材も求めています。特に、将来、博士の学位を取得して、豊かな知的好奇心と科学的探求心をもち世界をリードする研究者となることを目指す人材を求めています。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日（金）午前10時～11月8日（金）午後5時（必着）
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日（木）発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日（金）正午
最終合格発表	令和7年2月12日（水）正午
入学手続	令和7年2月19日（水）午後5時（必着）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和3年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部資源生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、実用英語検定（英検）のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBTスコアが概ね61点以上、TOEIC Listening & Reading Testスコアが概ね600点以上、実用英語検定（英検）（英検CBT・英検S-CBT・英検S-Interviewも認める）2級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

※TOEFL iBTは「MyBest Scores」ではなく、「Test Date Scores」により評価します。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2
【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。  
 ※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。  
 第1次選考は、提出書類により選考を行います。  
 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、面接試験の成績により選考を行います。  
 面接試験では、意欲、適性、及び意見を論理的に述べる能力などについて評価します。  
 面接試験の配点は次のとおりとします。

試験の区分	面接	合計
配点	200	200

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね750点以上の者の中から、第2次選考と大学入学共通テストの成績により合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	面接	9時00分～17時30分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和7共通テスト成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【農学部応用生命科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

生命現象や生物の機能を化学的なアプローチによって解明・活用することに興味があり、歴史を踏まえて自身と社会の未来を設計することができ、多くの分野にまたがる領域にも飛び込んでいける人材を求めています。

## ◆募集人員

4人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木) 発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金) 正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水) 正午
入学手続	令和7年2月19日(水) 午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部応用生命科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(農学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2  
 【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、応用生命科学領域に関するテーマについて、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。※3

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	250	250	500

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中700点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	100	200	200	200	100	1000

※3 京都大学農学部応用生命科学科では、生命・食・環境をキーワードとし、化学と生物にまたがる基礎と応用を志向した農芸化学領域の教育・研究をしています。

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	小論文	9時00分～11時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分～17時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【農学部地域環境工学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識と工学的問題解決能力をもって社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部地域環境工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(農学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理（必ず選択）』、及び『化学』、『生物』、『地学』から1  
 【外国語】『英語』 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、問題解決能力、論理的思考力などについて評価します。

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	250	250	500

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね800点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	100	200	200	200	100	1000

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	小論文	9時00分～12時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分～17時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。

# 【農学部食料・環境経済学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

食料・環境・農業などの分野において、大学卒業後、大学院へ進学する意欲を持ち、高度な専門知識を持って国際社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和3年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部食料・環境経済学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(農学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2  
 【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。長文の英文について内容を正確に読み取り分析した上で、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。

小論文試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	合計
配点	200	200

(英文課題を2つ、それぞれ100点)

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね800点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	100	200	200	200	100	1000

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	小論文	9時00分~12時00分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【農学部森林科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

森林科学（森林や木質資源に関する基礎及び応用科学）の分野について学びつつ、研究を深めることに強い関心があり、高度な専門知識と問題解決能力を習得する強い意欲と能力のある人材を求めています。また卒業後は、森林管理や生物多様性保全といった面から、あるいは木材由来のさまざまな材料を駆使して持続可能な社会の確立に貢献する人材となることを期待しています。森林科学のキーワードは多岐にわたります。森林管理、森林生態系、生物多様性、ランドスケープ、緑化、土砂災害、森林由来の生物資源や機能性材料、木造建築、木質文化財、木材と感性、バイオマス、セルロースナノファイバー、きのこ、などです。

## ◆募集人員

7人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日（金）午前10時～11月8日（金）午後5時（必着）
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日（木）発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日（金）正午
最終合格発表	令和7年2月12日（水）正午
入学手続	令和7年2月19日（水）午後5時（必着）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部森林科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』  
 【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※1  
 【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』  
 【理科】『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2  
 【外国語】『英語』 ※2  
 【情報】『情報Ⅰ』

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、環境・資源などに関する英語の長文を読み日本語で論述する形式などです。正確に記述内容を把握する能力と、自分の考えを論理的に説明する能力などにより評価します。

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	200	100	300

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの得点の合計が1000点満点中概ね800点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	情報	
配点	200	100	200	200	200	100	1000

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	小論文	9時00分~12時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分~17時45分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

## ◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

# 【農学部食品生物科学科】

試験実施方式：総合型選抜

## ◆求める人物像

最先端の生命科学研究に取り組むことに興味を持ち、大学卒業後に大学院修士・博士後期課程に進学して博士の学位を取得したうえで、国内外のアカデミックなポジション（大学、国の研究機関等）で、世界トップレベルの食と健康に関する基礎研究を推進する人材を求めています。

## ◆募集人員

3人

## ◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日（金）午前10時～11月8日（金）午後5時（必着）
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日（木）発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日（金）正午
最終合格発表	令和7年2月12日（水）正午
入学手続	令和7年2月19日（水）午後5時（必着）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和3年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部食品生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. TOEFL iBT スコアが概ね80点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）でオーバーオール・バンドスコア6.0以上、TOEIC Listening & Reading Test スコアが概ね800点以上、実用英語検定（英検）（英検 CBT・英検 S-CBT・英検 S-Interview も認める）準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者
3. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者

※TOEFL iBT は「MyBest Scores」ではなく、「Test Date Scores」により評価します。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1 ※
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理』、『化学』、『生物』から2
【情報】『情報Ⅰ』

※ 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、及び口頭試問の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問の成績により選考を行います。口頭試問の配点は100点満点とし、基礎学力、論理的思考力、及び英語論文の読解力について評価します。

口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	合計
配点	100	100

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入学共通テストの外国語を除く得点の合計が800点満点中概ね660点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入学共通テスト					合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	情報	
配点	200	100	200	200	100	800

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日(土)	口頭試問	9時00分～17時30分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(72ページ)の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに農学部教務掛へ提出してください(詳細は73ページ参照)。

## 8. 出 願 手 続

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。不備のないよう注意してください。

### 1) 出願手順

#### (1) 事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン等の準備  
ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。
- ②プリンタの準備  
インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベル及び志願票・写真票を印刷するために必要です。
- ③必要書類の準備（69ページ [3] 出願に要する書類等] 参照）
- ④角形2号（角2）封筒（240mm×332mm）の準備  
出願に必要な書類を送付するため、市販の角形2号（角2）封筒を準備してください。

#### (2) インターネット出願システムに登録する

インターネット出願システムのページには、京都大学特色入試Webサイトからアクセスできます。<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>  
出願システムに登録したメールアドレスは、合格発表後の入学手続においても使用します。  
出願後にメールアドレスを削除する等メールが受信できない状態になると入学手続ができなくなりますので、注意してください。

#### (3) 出願登録

画面の案内に従って、志望情報、志願者個人情報を入力します。

#### (4) 出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容に間違いがある場合は、「変更」ボタンを押して修正してください。

#### (5) 入学検定料等納入方法の選択（決済情報入力）

画面の指示に従って、入学検定料等の納入方法を選択してください。納入方法として「クレジットカードで支払う」もしくは「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」のどちらかを選択できます。

※出願登録の際に必要な料金は以下のとおりとなります。

- ①入学検定料（17,000円）
- ②受験票等送付料（410円）
- ③試験成績送付料（424円）※希望者のみ。詳細は74ページ参照。

以上①～③の料金の他に支払い手数料\*が必要となります。

\*最終的な料金はインターネット出願システム画面で確認してください（今年度は650円を予定）。  
※出願書類を受理した後は、68ページ[※検定料の返還について]のア、イに該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの入学検定料は返金しませんので注意してください。  
※入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

(6) 宛名ラベル及び志願票・写真票を印刷する

出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベル及び志願票・写真票を印刷してください。

※出願登録完了後に発行される出願番号は、入学手続で使用します。出願番号は出願登録完了画面や「出願登録完了のお知らせ」のメールに記載されますので、大切に保管してください。

(7) 必要書類の郵送

宛名ラベルを貼り付けた封筒に必要書類を封入し、必ず「簡易書留速達」で郵送してください。

なお、いかなる理由があっても持参による出願は、一切受け付けませんので注意してください。

## 2) 入学検定料等の納入方法等

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

詳しい支払い方法については、出願をする際に、インターネット出願システム上の「入学検定料の支払方法について」の項目を確認してください。

### ①クレジットカード

クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。お支払いされるカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。

### ②コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ）で支払いが可能です。

### ③金融機関 ATM【Pay-easy】

金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。支払い可能金融機関は、下記 URL の「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html>

### ④ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

※検定料の返還について（手続には時間を要しますので予めご了承ください）

#### ア. 第 1 次選考不合格者

検定料の一部（13,000円）を返還します。不合格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。

#### イ. 検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合及び誤って二重に納入した場合

検定料の全額（17,000円）及び受験票等送付料（410円）を返還します。検定料の返還を希望する旨を明記のうえ、①出願番号 ②志願者氏名 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥検定料の納入方法 ⑦納入した金融機関名及び支店名又はコンビニエンスストア名及び店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。

### ウ. 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課  
TEL: 075-753-2522 FAX: 075-753-2565

以下の災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、入試企画課（075-753-2522）へ問い合わせてください。

- ①東日本大震災（平成23年3月）、②熊本地震（平成28年4月）、③平成30年7月豪雨、④北海道胆振東部地震（平成30年9月）、⑤令和元年台風第19号、⑥令和2年7月豪雨、⑦令和6年能登半島地震

### 3) 出願に要する書類等

市販の封筒（角2サイズ 240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての必要書類を封入し郵送してください。

※添付資料が多い場合は、角2サイズより大きな封筒で郵送してもかまいません。

#### 【全学部共通】

① 志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。 写真票については、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。 *写真は証明写真を使用してください。自分で印刷する場合は、証明写真用紙に印刷してください（普通紙に印刷した写真は不可）。
② 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 *調査書が得られない場合は、71ページに記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。 <学校関係者の方へ> ・印刷の出力形式については、A3用紙でも問題ありません。

#### 【学部が定める提出書類<総合人間・文・医（人間健康科学科）・薬・農学部>】

学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（各学部用）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。 *学部（学科）によって様式が異なります。
TOEFL iBT、IELTSの受験者成績書の原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	【薬学部】の志願者のみ提出してください。コピー不可。

TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書の原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	【農学部資源生物科学科】の志願者のみ提出してください。 コピー不可。
TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書の原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	【農学部食品生物科学科】の志願者のみ提出してください。 コピー不可。

【学部が定める提出書類<教育学部>】

学びの報告書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。
学びの設計書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

【学部が定める提出書類<法学部>】

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書	所定様式により志願者本人が作成したもの。 （「学業成績に秀でていること」に該当する理由を記載してください。志願者が在学中に行った活動・研究のうち、推薦要件2. に照らして、特筆すべきものの内容について、その理由とともに説明してください。）
推薦要件2. を満たすことを具体的に証明する資料	例えば、下記のもの。但し、これに限定されない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校等での課題研究の実績や執筆した論文</li> <li>・留学経験を証明する書類、外国人との交流や支援活動を行ったことを示す第三者の推薦状</li> <li>・特記すべき社会貢献活動や課外活動の内容を証明する書類</li> </ul>
TOEFL iBTのOfficial Score ReportsまたはTest Taker Score Report、IELTS（アカデミック・モジュール）、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

【学部が定める提出書類<経済学部>】

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。 （大学院進学への興味についても言及すること。）
学びの設計書 （経済学部「文系型入試用」もしくは「理系型入試用」）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。 （大学院に進学した場合どのような研究をしたいかという抱負を含む。文系型入試では経済問題に対する関心についても記載すること。）
顕著な活動・学習実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。
「文系型入試」のみTOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Test、GTEC（CBTに限る）の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

**【学部が定める提出書類<理学部>】**

学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの報告書（理学部「数理科学入試用」もしくは「生物科学入試用」）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
入学資格認定書(写) (該当者のみ)	<b>【理学部】</b> の「出願資格3.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。

**【学部が定める提出書類<医学部（医学科）>】**

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（医学部医学科）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
TOEFL iBTのスコア（右欄の（1）または（2）を提出すること）	<p>（1） Official Score Reports（公式スコアレポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ETS から京都大学に直接送付する手続きを行うこと。</li> <li>• 登録コードは「9501」を選択すること。</li> <li>• なお、出願の際には受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report）のコピーも提出すること（オンラインで出力したものでも可）。ETS に直接送付手続きをしている旨を付記しておくこと。</li> </ul> <p>（2） Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート）の原本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オンラインで出力したものではなく、ETSから郵送されたスコアレポートの原本を提出すること。</li> </ul>
特色事項（各種コンクール、国際科学オリンピック等に関する資料）	* 高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者及び国内の国際バカロレア認定校（DP）を令和7年4月から令和8年3月までに卒業見込みの者は提出必須
国際バカロレア資格の成績証明書の写し（取得見込みの者は、学校長が発行するPredicted Gradesの写し）	学校教育法第1条に規定されている学校（一条校）かつ国際バカロレア認定校（DP）を卒業見込みの者のみ

**【学部が定める提出書類<工学部>】**

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（工学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
顕著な活動実績の概要 (建築学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、理工化学科)	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

**【各種様式等のダウンロードについて】**

「学業活動報告書」及び「推薦書」の作成にあたっては、それぞれの「作成の手引き」を参照してください。学部・学科別各種様式（「推薦書作成の手引き」含む）と「学業活動報告書作成の手引き」は、京都大学特色入試Webサイト

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>) からダウンロードできます。

**【調査書に代えることができる書類について】**

(1) 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、

「卒業証明書」及び「成績証明書」を提出してください。成績証明書を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。

- (2) 上記(1)以外の者は、「修了証明書(資格証明書)」及び「成績証明書」を提出してください(コピー不可)。

#### 【注意事項】

- (1) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。  
(2) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。  
(3) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。  
(4) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、入学予定学部の教務担当(91ページ参照)に退学証明書を速やかに提出してください。

#### 【生成AIの利用等に関する留意事項】

- (1) 学部が定める提出書類で、志願者本人が作成するもの(「学びの報告書」、「学びの設計書」等)は、志願者の責任において、自身で考えて自筆で作成してください。志願者以外の者(生成AIツールを含む)により作成された文章等を利用することは認めません。  
(2) 学校推薦型選抜については、(1)の志願者本人が作成する内容を含め、すべての提出書類を学校側で事実と相違ないと判断したうえで提出してください。

#### 4) 出願期間及び入学検定料納入期間

##### 【教育・理・医(人間健康科学科)学部】

令和6年10月1日(火)午前10時から10月7日(月)午後5時(必着)まで

##### 【総合人間・文・法・経済・医(医学科)・薬・工・農学部】

令和6年11月1日(金)午前10時から11月8日(金)午後5時(必着)まで

- ・この期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着していなければなりません。(持参不可)  
・「簡易書留速達」で郵送してください。

#### 5) 出願状況の情報提供

- (1) 各学部の出願状況について、出願期間終了後、京都大学特色入試 Web サイト(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku>)上に情報提供を行います。  
(2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、日本郵便の追跡サービス(<https://www.post.japanpost.jp>)をご利用ください。

#### 6) 第1次選考結果発表・受験票の送付

第1次選考結果発表・受験票の送付は、以下のとおり行います。

##### 【総合人間・文・教育・法・理・医・薬・工(情報学科)・農学部】

下記期日に、第1次選考合格者には「受験票」等を速達で発送します。なお、第1次選考不合格者には不合格通知書を送付します。

教育・理・医(人間健康科学科)学部	令和6年11月6日(水)
総合人間・文・法・医(医学科)・薬・工(情報学科) ・農学部	令和6年11月28日(木)

【経済学部・工学部（地球工学科・建築学科・物理工学科・電気電子工学科・理工化学科）】

令和6年11月28日（木）に、受験者全員に「受験票」等を速達で発送します。

#### 7) 大学入学共通テスト成績請求票の提出

対象者に別途、関係する通知文書を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに  
出願した学部の教務担当へ提出してください。

なお、この成績請求票を提出しない場合は、受験者としての権利を失います。

また、特別な事情により、期限までに提出できない者は、学部の教務担当（91ページ参照）へ連絡してください。

成績請求票貼付用台紙に次の成績請求票を枠内に貼り付けてください。

【総合人間・文・教育・理・医（人間健康科学科）・薬・農学部】 → 「**総合**国公立総合型選抜用」

【法・経済・医（医学科）・工学部】 → 「**推薦**国公立推薦型選抜用」

## 9. 入試情報開示

本学では、試験成績、調査票について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

### 【試験成績】

令和7年度特色入試の試験成績の開示を希望する者は、インターネット出願システムで試験成績送付を申し込んでください（送付料として424円が必要です）。令和7年4月下旬頃に簡易書留（親展）で郵送します。

開示する試験成績は、大学入学共通テストの教科別の得点（配点換算前及び換算後）と受験した学部における第2次選考の教科別の得点及び総点または段階評価です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。なお、合格者数が5人未満の場合及び得点による評価をしない場合は、合格者の最高点、最低点及び平均点は記載しないことがあります。

また、特色入試の受験者本人に限り、令和7年7月1日（火）から令和7年11月28日（金）の間に、受験学部の教務担当事務室（91ページ参照）において試験成績を開示します（本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください）。

※試験成績送付申し込み者のうち第1次選考不合格者に対しては、試験成績送付料（424円）を返還します。不合格通知書等を送付する際に、返還手続方法についてもあわせてお知らせします。

### 【調査書】

令和7年度特色入試の調査書の開示を希望する者は、令和7年7月1日（火）から令和7年11月28日（金）までの間に、受験学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が受験学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに特色入試の受験者本人に限りますので、本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄）を除いた部分となります。

### 《注意事項》

試験成績・調査書共に、遠方に居住しているため、直接本学に出向くことが困難な方については、郵送にて請求を受け付けますので、必ず受験学部の教務担当事務室に連絡したうえ、請求してください。

## 10. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する申請を常時受け付けています。下記の様式（受験上の配慮申請書）を用いて、志望する学部の教務担当（91ページ参照）へ連絡してください。申請時点で志望学部が決まっていない場合は、志望する可能性のある学部のそれぞれの教務担当へ連絡してください。

申請の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として志望する学部・学科の第2次選考期日の2か月前までに連絡してください。また、それ以降に不慮の事故等で申請が必要となった場合は、できるだけ早く志望する学部の教務担当へ連絡してください。

(様式) A4 判縦
受験上の配慮申請書
令和 年 月 日
京都大学〇〇学部長 殿
氏名（ふりがな）・性別・生年月日 連絡先（住所・電話番号・メールアドレス等） 出身学校名・卒業/卒業見込み年月 試験当日の保護者等緊急連絡先（電話番号）
京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり申請します。
記
1. 志望する学部・学科、受験科目 2. 障害等の種類、程度 3. 受験上希望する配慮事項 4. 添付書類（上記2、3の根拠となる資料を添付してください。以下に資料の例を示します。いずれの資料も写しで構いません。） <ul style="list-style-type: none"><li>・医師の診断書</li><li>・検査結果、所見</li><li>・障害者手帳</li><li>・大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（注）</li><li>・これまでの教育機関における配慮事項</li><li>・日常生活の状況 など</li></ul> その他、参考になる資料があれば、添付してください。

(注)「大学入学共通テスト 受験上の配慮事項決定通知書」取得前に申請する場合は、「大学入学共通テスト 受験上の配慮事項審査結果通知書」（写し）を提出してください。なお、大学入学共通テストで配慮申請を行わない場合は提出不要です。

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙（A4判縦、様式自由）に記載して、上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は、合格発表後あるいは入学後でも構いませんが、対応に時間を要することがありますので、できるだけ早く学部の教務担当に連絡してください。

※個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

## 1 1. 受験に関する注意事項等

- (1) **受験に関する注意事項等**は、第2次選考日の前日午後に、出願した学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください。
- (2) 来場にあたっては、公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って行動するようお願いいたします。自家用車・タクシー等の試験場付近での乗降（駐停車）は、深刻な交通渋滞を招きますので遠慮ください（事前に許可された場合は除く）。  
また、公共交通機関以外での送迎で、渋滞による遅刻が生じた場合には、本人の責めに帰す遅刻理由となり、救済措置が行われません。
- (3) 第2次選考日の当日は、**本学の受験票**を必ず持参してください（入学手続きの際には、本学の受験票と大学入学共通テストの受験票が必要になります）。
- (4) 第2次選考日の当日は、各学部の指示する時刻及び場所に集合してください（時刻の指示がない場合は**試験開始30分前**までに集合してください）。ただし、**面接、口頭試問の集合時刻・場所**については、受験票送付時に別途通知します。
- (5) 試験開始時刻に遅れた場合は、各教科等とも**試験開始後30分以内**に限り入室を認めます。ただし、**面接、口頭試問の控え室への入室限度時刻**については、受験票送付時に別途通知しますので注意してください。
- (6) **第2次選考の試験時間中に机の上に置けるもの**  
試験時間中に机の上に置けるものは、次のとおりです。

机の上に置けるもの	留意事項
京都大学受験票	
黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆キャップ、消しゴム	和歌・格言等が印刷されているものは不可。
鉛筆削り（小型）	電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。
ハンカチ・タオル	漢字、英文字や地図等がプリントされているものは不可。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけを取り出したものに限る。
マスク	漢字、英文字や地図等がプリントされているものは不可。 マスクを着けたり外したりすることは構わない。
眼鏡	眼鏡をかけたり外したりすることは構わない。 情報端末としての機能を有するものは、(7)の「試験時間中使用できないもの（不正行為失格となるもの）」に含まれる。
目薬	成分表示等の文字が見えないようにマスキングテープ等で隠しているものに限る。

これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

なお、コート（必ずボタンをかけること）・手袋・座布団・クッション・ひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む）・カイロで漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

(7) 試験時間中に使用できないもの

(6)の「試験時間中に机の上に置けるもの」以外の物品は使用できません。以下に「試験時間中使用できないもの」の一例を示します。

1) 使用したり、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりすると不正行為失格となるもの

不正行為失格となるもの	留意事項
時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）	各試験室に設置している電波時計により試験時間の確認は可能ですので、試験室に入る前にかばんにしまってください。 <u>腕時計については計時機能のみの時計であっても衣服の中も含めて身につけているだけで不正行為失格となります。</u>
携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類	試験室に入る前に必ず電源を切って、かばんにしまってください。 なお、試験時間中にかばんの中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばんを持ち出し、試験事務室で当該試験終了まで保管します。 <u>イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為失格となります。</u>

2) 使用したり、机の上に置いていたり、身につけていたり、手に持っていたりすると不正行為となることがあるもの

不正行為となることがあるもの（主なもの）	留意事項
定規・コンパス・電卓等の補助具	<u>試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すると不正行為失格となります。</u>
耳栓	監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

(8) 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。

(9) 不正行為等（★「不正行為等の取り扱い」参照）の理由で退場を命じられた者は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。

(10) その他受験に関する問い合わせは、出願した学部の教務担当（91ページ参照）に照会してください。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応を取る場合があります。

- ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。
- イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用、他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
- ウ. 他の受験者に答えを教えたり、解答冊子の交換等により、カンニングの手助けを行うこと。
- エ. 試験時間中に、問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。
- オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- カ. 試験時間中に、時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）及び携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類をかばんにしまわず、使用したり、机の上に置いていたり、衣服の中も含めて身につけていたり、手に持っていたりすること。
- キ. 試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。
- ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず、解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次の行為を行うと不正行為となることがあり、場合によっては、文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

- ア. 試験時間中に定規・コンパス・電卓等の補助具をかばん等にしまわず、机の上に置いたり、身につけていたり、手に持っていたりすること。
- イ. 解答冊子の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。
- ウ. 試験時間中に、長い間、机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ、その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。なお、試験妨害については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応を取る場合があります。

- ア. 監督者の指示に従わず、他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。
- イ. その他、試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。

## 12. 合格者発表

### 1) 第2次選考結果発表

第2次選考結果発表は、以下のとおり行います。

#### 【教育・法・理（数理学部入試）・医（人間健康科学科）・工（情報学科）・農学部】

下記日時に、「合否照会システム」による発表を行います（詳細は80ページ参照）。

教育・理（数理学部入試）学部	令和6年12月4日（水） 正午
医学部（人間健康科学科）	令和7年 1月24日（金） 正午
法・工（情報学科）・農学部	令和7年 1月10日（金） 正午

※上記以外の学部（学科等）については、第2次選考結果発表と最終合格発表が同じになります。

※電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

### 2) 最終合格発表

最終合格発表は、下記日時に、「合否照会システム」による発表を行います（詳細は80ページ参照）。

#### 【医学部（医学科）】

発表日	時間
令和7年1月24日（金）	正午
掲載期間：令和7年1月24日（金）正午～1月31日（金）午後5時	

#### 【総合人間・文・教育・法・経済・理・医（人間健康科学科）・薬・工・農学部】

発表日	時間
令和7年2月12日（水）	正午
掲載期間：令和7年2月12日（水）正午～2月18日（火）午後5時	

※受験者への合否の通知等はいりません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

## ◆ 合否照会システムの利用方法について

### ■WEB による合否結果通知

#### 1. URL の入力

URL: <https://www.gouhi.com/kyoto-u/>



※バーコードリーダー対応スマートフォン等をお持ちの方は、右の二次元バーコードを読み取り、表示された URL をクリックしてインターネットに接続してください。

#### 2. 受験学部選択・

受験番号の入力

例:0001

#### 3. 受験学部・

受験番号の確認

#### 4. 生年月日の入力

例:平成 19 年 1 月 12 日生

→H190112

平成=H 昭和=S

#### 5. 選考結果の確認



スマートフォン・パソコン共にフローは同じです。 ※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

※「合否照会システム」は、第2次選考結果発表と最終合格発表の時のみお使いいただけます。

### 13. 入学手続

入学手続は、「1) 入学手続に必要なもの」を期限までに、京都大学特色入試Webサイト「合格者発表・入学手続」ページ (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/procedure>) から印刷した入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付け、「簡易書留速達」で郵送してください。

#### 1) 入学手続に必要なもの

(1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000円(予定)>

(注) 受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

(2) 大学入学共通テスト受験票

(3) 本学受験票

(4) 学籍登録シート

(注) 受験票送付時に同封する「学籍登録シート」に写真※を貼付し、氏名等の修正の有無を記入してください。「大学入学共通テスト受験票」記載の「氏名・フリガナ・生年月日」を学籍情報として登録し、学生証を作成しますので、氏名等を必ず確認し、その記載に間違い等がある場合は、それを訂正してください。訂正がない場合は、「訂正無し」欄にチェックを入れてください。

※写真について

- ・サイズは縦3cm×横2.4cm、脱帽正面向きで3か月以内に撮影したもの。光沢仕上げ(絹目仕上げは不可)。
- ・裏面に氏名、合格した学部・学科名及び本学の受験番号を記入してください。
- ・写真は学生証に印刷され、在学期間中(4年間または6年間)使用しますので、高等学校等の制服着用のもは避けてください。写真を変更するために学生証を再作成する場合は有料となります。

【入学料・授業料等について】

ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学手続時まで金融機関(ゆうちょ銀行及び郵便局は除く)の窓口で納入してください。振込の際、収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。

イ. 納入した入学料は、返還しません。入学料免除の申請を希望する者は、入学料は納入しないでください。

ウ. 入学料免除について、83ページ「14. 修学案内」を参照してください。

エ. 授業料は、入学後に口座振替により納入いただきます。

(引落時期:5月27日、11月27日)

※27日が土日祝日の場合はその翌営業日が振替日となります。

<令和7年度前期分授業料 267,900円(予定)>

※授業料は入学時及び在学中に改定されることがあります。

※口座振替のお申込みが間に合わないなどの事情により、口座振替による納入ができない学生にのみ「振込依頼書」を5月20日頃にお送りしますので、当該依頼書をご利用ください。

※授業料の詳しい納入方法は、入学案内等に同封する書類を確認してください。

## 2) 入学手続方法

### (1) 郵送締切日時

**令和7年2月19日(水) 午後5時必着**

ただし、上記締切日時までに手続ができない場合は、合格した学部の教務担当(91ページ参照)へ締切日時までに連絡して、指示に従ってください。

### (2) 郵送先・郵送方法

宛先は合格した学部の教務担当とし、81ページの「1) 入学手続に必要なもの」をすべて同封し、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、必ず簡易書留速達として郵送してください。

※宛名ラベルのダウンロード

京都大学特色入試Webサイト「合格者発表・入学手続」ページ

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/procedure>

※配達状況については「郵便追跡サービス」

(<https://www.post.japanpost.jp>)で確認することができます。

### (3) 注意事項等

入学手続が完了後、「大学入学共通テスト受験票」、「本学受験票」、「入学許可書」等の書類を2月25日(火)頃までに発送します。3月3日(月)を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当へ問い合わせてください。

なお、入学に関する書類は、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」冊子とともに、3月14日(金)までに発送する予定です。これ以後の各種手続はWebを用いたオンラインシステム上で行うこととなります。詳細につきましては、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」等をご覧ください。3月21日(金)を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当へ問い合わせてください。

## 3) 入学辞退手続

本特色入試では、合格した場合は必ず入学することを確約する者であることを出願要件としております。合格者であって、真にやむをえない特別な事情が生じ入学を辞退しようとする者は、2月19日(水)午後5時までに具体的な理由を付した「特色入試入学辞退願」(様式任意、本人が署名・捺印したもの)を提出し、許可を得なければなりません。

また、法学部、経済学部、医学部医学科、工学部の入学辞退者については、当該出願者の推薦を行った各学校長が、2月19日(水)までに「推薦入学辞退願」(様式任意、各学校長が署名・捺印したもの)を提出し、許可を得なければなりません。

なお、入学辞退が許可されない場合には、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く)を受験しても合格者となりませんので注意してください。

※手続き及び連絡先: 合格した学部の教務担当(91ページ参照)

## 4) 入学手続上の諸注意

他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く)で入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

また、本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く)に入学手続することはできません。

※公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/>)参照のこと。

## 14. 修学案内

学生生活に必要な制度、施設等についての概要は、次のとおりです。

なお、経済支援等の各制度は改正される場合がありますので、最新の情報については、文部科学省 Web サイトまたは京都大学 Web サイトをご確認ください。

- 文部科学省 Web サイト
- [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shougakukin/main.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shougakukin/main.htm)
- 京都大学 Web サイト
- <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/support>

### 1) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、高等教育の修学支援新制度による新たな支援が始まりました。京都大学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は以下の2つの支援からなります。

- ・授業料等の減免（授業料と入学金の免除又は減額→2）へ）
- ・給付奨学金（原則返還が不要な奨学金→3）（1）①へ）

### 2) 入学金免除・授業料免除

高等教育の修学支援新制度による授業料等減免

日本学生支援機構（JASSO）の給付奨学金3）（1）①）に採用された際の支援区分により、授業料と入学金の全額、2/3、1/3をそれぞれ減免します。

### 3) 日本学生支援機構（JASSO）奨学金及びその他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生には、日本学生支援機構及び民間奨学団体等による奨学金の給付・貸与制度があります。

#### （1）日本学生支援機構（JASSO）奨学金

##### ①給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

支給金額は、次のとおりです。（令和6年4月現在）

自宅通学	第Ⅰ区分	29,200円（33,300円）
	第Ⅱ区分	19,500円（22,200円）
	第Ⅲ区分	9,800円（11,100円）
自宅外通学	第Ⅰ区分	66,700円
	第Ⅱ区分	44,500円
	第Ⅲ区分	22,300円

※生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません。）で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

申請に関する詳細については、「入学案内」等により通知します。

##### ②貸与奨学金

奨学金の種類と貸与月額は、次のとおりです。（令和6年4月現在）

##### ・第一種奨学金（無利子）

自宅通学	20,000円、30,000円、45,000円から選択
自宅外通学	20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択 （最高月額には家計基準あり）

※①の給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併給調整として貸与を受けられる月額の上限額が制限されますので注意してください。

・第二種奨学金（有利子）

20,000円～120,000円（1万円単位で希望する月額を選択）

◇入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

大学の第1学年において、希望により、第一種・第二種奨学金の初回振込み時に、一時金として10万円～50万円を増額して貸与されます。この制度は、一定の収入金額以下の場合、又は日本政策金融公庫〔国の教育ローン〕を申し込んで、貸付を受けることができなかった場合に申し込めます。

ア. 申込方法

日本学生支援機構奨学金の申込方法については「入学案内」及び本学 Web サイト (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/syogaku>) において、3月中旬頃に通知します。

なお、入学の前年度に採用候補者に内定している場合は、次の「イ. 進学届の提出」を参照してください。

イ. 進学届の提出

入学の前年度に日本学生支援機構奨学生の採用候補者に内定している場合は、あらかじめ日本学生支援機構から交付されている「個人別パスワード」及び本学が交付する「学校別パスワード」を使用して、インターネットから直接「進学届」を提出してください。なお、「学校別パスワード」の交付等については、「入学案内」等により通知します。

(2) その他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

日本学生支援機構奨学金のほか、教育推進・学生支援部学生課奨学掛では、地方公共団体、民間団体合わせて約90団体の奨学金を取り扱っています。詳細については、「入学案内」等により通知します。

#### 4) その他の経済支援

学資負担者が亡くなられた場合や災害により被災した場合などの緊急時に一時金を給付する制度や、急な出費の場合に無利子の貸付を行う制度については、以下の本学Webサイトをご覧ください。

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/sonota.html>



## 5) その他の修学案内（関連サイト一覧）

### ◎学生保険

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Insurance>



大学生協 Web サイト

<https://hoken.univcoop.or.jp/student/index.html>・・・和文

<https://kyosai.univcoop.or.jp/english/index.html>・・・英文



### ◎学生寄宿舍

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Life>  
教育推進・学生支援部厚生課厚生掛（TEL：075-753-2533）



### ◎下宿・アパート等、福利厚生施設（食堂、購買等）

京都大学生生活協同組合 Web サイト

<https://www.s-coop.net>

TEL：075-771-0823（下宿・アパート等）

075-753-7640（福利厚生施設 食堂・購買等）



### ◎学生総合支援機構

<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/>



### ◎環境安全保健機構 産業厚生部門（健康管理室）

<https://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>



### ◎課外活動

本学 Web サイト

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/support>



◎図書館

本学 Web サイト  
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



◎情報環境

本学 Web サイト  
<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>



◎教育職員免許状

本学 Web サイト  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/teaching>



◎CAP制

「CAP制」とは1学期で履修登録できる授業科目の単位数の上限を設定する制度です。本学では令和2年度入学者より全学部で導入しています。

◎卒業後の進路

本学 Web サイト  
<https://www.career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/misc/brochure/>



**学習用ノートパソコン及びインターネット環境の準備について**

入学後は、授業でのパソコンの活用を始め、自宅やその他の場所など、様々な場面でノートパソコンとインターネットを利用することが必要となります。

入学の際には、ノートパソコンを準備していただくこととなりますので、あらかじめお知らせします。

ノートパソコンの推奨仕様や通信環境の詳細については、入学案内に記載しますので、必ずご確認ください。

## 15. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

- (1) 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用しません。
- (3) 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。  
したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (5) 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

# 16. 過去3年間の特色入試試験結果の概要

## 令和6年度特色入試の結果

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	倍率	第1次選考 合格者数	第2次選考 受験者数	第2次選考 欠席者数	第2次選考 合格者数	最終選考 合格者数	辞退者数	入学者数
総合人間学部	5	41 (22)	8.2	41 (22)	41 (22)	0 (0)	—	4 (1)	—	4 (1)
文学部	10	42 (23)	4.2	42 (23)	42 (23)	0 (0)	—	10 (8)	—	10 (8)
教育学部	6	23 (14)	3.8	12 (10)	12 (10)	0 (0)	6 (5)	2 (1)	—	2 (1)
法学部(後期日程)	20	406 (103)	20.3	302 (80)	37 (8)	265 (72)	—	21 (5)	1 (0)	20 (5)
経済学部	15	25 (11)	1.7	—	—	—	—	13 (5)	—	13 (5)
理学部	10	15 (4)	1.5	—	—	—	—	5 (0)	—	5 (0)
	5	52 (1)	10.4	52 (1)	52 (1)	0 (0)	5 (0)	5 (0)	—	5 (0)
	5	24 (13)	4.8	15 (8)	15 (8)	0 (0)	—	5 (1)	—	5 (1)
医学部	5	14 (8)	2.8	9 (4)	9 (4)	0 (0)	—	2 (1)	—	2 (1)
	20	45 (39)	2.3	39 (37)	39 (37)	0 (0)	36 (34)	17 (16)	—	17 (16)
先端看護科学コース										
人間健康科学 コース(先端理学療法学講座)	5	10 (1)	2.0	10 (1)	10 (1)	0 (0)	7 (1)	2 (0)	—	2 (0)
先端リハビリテーション科学 コース(先端作業療法学講座)	5	12 (7)	2.4	12 (7)	12 (7)	0 (0)	8 (7)	6 (5)	—	6 (5)
薬学部	3	7 (4)	2.3	7 (4)	7 (4)	0 (0)	—	3 (1)	—	3 (1)
	3	9 (8)	3.0	6 (5)	6 (5)	0 (0)	—	3 (2)	—	3 (2)
地球工学科	4	11 (7)	2.8	—	—	—	—	4 (4)	—	4 (4)
建築学科	3	5 (5)	1.7	—	—	—	—	2 (2)	—	2 (2)
物理工学科	5	17 (4)	3.4	—	—	—	—	4 (1)	—	4 (1)
電気電子工学科	7	17 (2)	2.4	—	—	—	—	5 (1)	—	5 (1)
情報学科	3	15 (5)	5.0	4 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	—	2 (0)
理工化学科	10	21 (8)	2.1	—	—	—	—	10 (3)	—	10 (3)
資源生物科学科	3	21 (10)	7.0	8 (3)	8 (3)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	—	1 (0)
応用生命科学科	4	9 (6)	2.3	5 (3)	5 (3)	0 (0)	4 (3)	3 (3)	—	3 (3)
地域環境工学科	3	13 (2)	4.3	8 (1)	8 (1)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	—	3 (1)
食料・環境経済学科	3	24 (11)	8.0	17 (8)	17 (8)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	—	2 (2)
森林科学科	7	21 (9)	3.0	14 (9)	14 (9)	0 (0)	8 (7)	6 (5)	—	6 (5)
食品生物科学科	3	7 (6)	2.3	5 (5)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	—	0 (0)
計	172	906 (333)	5.3	608 (231)	343 (159)	265 (72)	87 (62)	140 (68)	1 (0)	139 (68)

※ ( ) は女子で内数

令和5年度特色入試の結果

学部・学科・コース		募集人員	志願者数	倍率	第1次選考 合格者数	第2次選考 受験者数	第2次選考 欠席者数	第2次選考 合格者数	最終選考 合格者数	辞退者数	入学者数
総合人間学部		5	39 (15)	7.8	39 (15)	38 (14)	1 (1)	—	4 (0)	—	4 (0)
文学部		10	47 (29)	4.7	47 (29)	47 (29)	0 (0)	—	9 (7)	—	9 (7)
教育学部		6	23 (17)	3.8	10 (8)	10 (8)	0 (0)	5 (4)	1 (1)	—	1 (1)
法学部(後期日程)		20	410 (118)	20.5	304 (85)	48 (13)	256 (72)	—	22 (4)	1 (0)	21 (4)
経済学部	(文系型入試)	15	23 (13)	1.5	—	—	—	—	13 (7)	—	13 (7)
	(理系型入試)	10	4 (1)	0.4	—	—	—	—	2 (0)	—	2 (0)
理学部	(数理科学入試)	5	51 (3)	10.2	51 (3)	51 (3)	0 (0)	6 (0)	6 (0)	—	6 (0)
	(生物科学入試)	5	35 (14)	7.0	22 (9)	22 (9)	0 (0)	—	6 (2)	—	6 (2)
医学部	医学科	5	9 (6)	1.8	6 (5)	5 (5)	1 (0)	—	2 (2)	—	2 (2)
	先端看護科学コース	20	47 (37)	2.4	38 (32)	38 (32)	0 (0)	34 (30)	16 (15)	—	16 (15)
	人間健康科学科 先端リハビリテーション科学 コース(先端理学療法学講座) 先端リハビリテーション科学 コース(先端作業療法学講座)	5	18 (9)	3.6	14 (9)	14 (9)	0 (0)	10 (5)	5 (5)	—	5 (5)
薬学部	薬科学科	3	8 (3)	2.7	7 (3)	7 (3)	0 (0)	—	3 (2)	—	3 (2)
	薬学科	3	4 (4)	1.3	4 (4)	4 (4)	0 (0)	—	1 (1)	—	1 (1)
工学部	地球工学科	4	15 (6)	3.8	—	—	—	—	4 (1)	—	4 (1)
	建築学科	3	10 (5)	3.3	—	—	—	—	2 (1)	—	2 (1)
	物理工学科	5	24 (6)	4.8	—	—	—	—	5 (2)	—	5 (2)
	電気電子工学科	7	10 (2)	1.4	—	—	—	—	4 (2)	—	4 (2)
	情報学科	3	13 (1)	4.3	4 (0)	4 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	—	2 (0)
	工業化学科	10	18 (10)	1.8	—	—	—	—	13 (7)	—	13 (7)
	資源生物科学科	3	25 (14)	8.3	8 (4)	8 (4)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	—	0 (0)
農学部	応用生命科学科	4	6 (3)	1.5	4 (1)	4 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	—	2 (1)
	地域環境工学科	3	14 (4)	4.7	9 (4)	9 (4)	0 (0)	3 (1)	1 (0)	—	1 (0)
	食料・環境経済学科	3	12 (7)	4.0	12 (7)	12 (7)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	—	3 (2)
	森林科学科	7	15 (5)	2.1	12 (4)	12 (4)	0 (0)	7 (2)	6 (2)	—	6 (2)
	食品生物科学科	3	1 (0)	0.3	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	—	0 (0)
計		172	896 (340)	5.2	607 (230)	349 (157)	258 (73)	85 (52)	135 (67)	1 (0)	134 (67)

※ ( ) は女子で内数

# 令和4年度特色入試の結果

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	倍率	第1次選考合格者数	第2次選考受験者数	欠席者数	第2次選考合格者数	最終選考合格者数	辞退者数	入学者数
総合人間学部	5	35 (14)	7.0	35 (14)	35 (14)	0 (0)	—	5 (2)	—	5 (2)
文学部	10	60 (28)	6.0	60 (28)	60 (28)	0 (0)	—	9 (6)	—	9 (6)
教育学部	6	23 (15)	3.8	12 (8)	12 (8)	0 (0)	6 (3)	5 (3)	—	5 (3)
法学部(後期日程)	20	360 (88)	18.0	301 (69)	51 (13)	250 (56)	—	22 (8)	—	22 (8)
経済学部	25	67 (25)	2.7	56 (23)	55 (23)	1 (0)	—	15 (6)	—	15 (6)
理学部	5	69 (3)	13.8	69 (3)	69 (3)	0 (0)	5 (0)	4 (0)	—	4 (0)
医学部	(数理科学入試)	5	19 (8)	3.8	15 (8)	0 (0)	—	6 (4)	—	6 (4)
	(生物科学入試)	5	8 (6)	1.6	6 (5)	0 (0)	—	1 (1)	—	1 (1)
	医学科	20	45 (33)	2.3	40 (30)	1 (0)	36 (29)	15 (13)	—	15 (13)
医学部	先端看護科学コース	5	17 (8)	3.4	16 (8)	0 (0)	10 (7)	4 (1)	—	4 (1)
	先端リハビリテーション科学コース(先端理学療法学講座)	5	13 (11)	2.6	13 (11)	0 (0)	11 (10)	3 (3)	—	3 (3)
	先端リハビリテーション科学コース(先端作業療法学講座)	3	3 (2)	1.0	2 (2)	0 (0)	—	1 (1)	—	1 (1)
薬学部	3	3 (2)	1.0	3 (2)	3 (2)	0 (0)	—	1 (0)	—	1 (0)
工学部	薬科学科	3	11 (2)	3.7	—	—	—	1 (0)	—	1 (0)
	薬学科学科	2	3 (2)	1.5	—	—	—	1 (1)	—	1 (1)
	地球工学科	5	19 (8)	3.8	—	—	—	5 (4)	—	5 (4)
	建築学科学科	7	9 (2)	1.3	—	—	—	4 (2)	—	4 (2)
	物理工学科	3	10 (1)	3.3	4 (1)	4 (1)	0 (0)	2 (1)	—	2 (1)
	電気電子工学科	7	5 (0)	0.7	—	—	—	3 (0)	—	3 (0)
	情報学科学科	3	20 (9)	6.7	6 (3)	6 (3)	0 (0)	4 (2)	—	4 (2)
	工業化学科学科	4	6 (2)	1.5	5 (2)	5 (2)	0 (0)	3 (2)	—	3 (2)
	資源生物科学科	3	9 (3)	3.0	6 (2)	6 (2)	0 (0)	4 (2)	—	4 (2)
	応用生命科学科	3	14 (8)	4.7	14 (8)	14 (8)	0 (0)	3 (3)	—	3 (3)
農学部	5	23 (12)	4.6	12 (7)	12 (7)	0 (0)	7 (4)	—	7 (4)	
地域環境工学科	3	3 (2)	1.0	3 (2)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	—	0 (0)	
食料・環境経済学科学科	165	854 (294)	5.2	678 (236)	426 (180)	252 (56)	91 (63)	117 (62)	—	117 (62)
森林科学科										
食品生物科学科										
計										

※ ( ) は女子で内数

問い合わせは、**志願者本人**が行ってください。

## 【 問 い 合 わ せ 先 】

### 各学部教務担当

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教務掛	075-753-6506	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文 学 部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教 育 学 部	教務掛	075-753-3010	
法 学 部	教務掛	075-753-3107	
経 済 学 部	教務掛	075-753-3406	
工 学 部	教務掛	075-753-5039	
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	人間健康教務掛	075-753-9313	
薬 学 部	教務掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
理 学 部	学部教務掛	075-753-3616	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
農 学 部	学部教務掛	075-753-6012	

### 入学試験関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 入試企画課入試第一掛	075-753-2522	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

### 奨学金関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 学生課奨学掛	075-753-2536	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

### 学生寄宿舍関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 厚生課厚生掛	075-753-2533	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

#### ■ 京都大学特色入試に関する問い合わせ先

tokushoku-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールにてお問い合わせください。原則として、お問い合わせに対して個別に回答できませんが、京都大学特色入試 Web サイトに「よくあるご質問」としてまとめて回答します。

#### ■ 京都大学特色入試 Web サイト

京都大学 Web サイト ホーム>入試・高大連携>特色入試

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>

